

市議会だより

大月市

令和4年2月28日発行 No.165

特集

対談／都留高生と市議会



アンケート結果を取りまとめる都留高生

CONTENTS

- ・ 特集（対談）
【都留高生と市議会】 P. 2～
- ・ 令和3年第5回（12月）市議会定例会
（主な議案の内容） P. 4～
- ・ 議決結果等一覧表 P. 6
- ・ 代表質問／一般質問 P. 7～
- ・ 議会日誌 P. 16



都留高探究プロジェクト（社会・地域・医療）

特集

テーマ①

都留高生が大月市議会だよりを読んだ感想・意見

テーマ②

登山で大月市を訪れた方々のアンケート結果

対 談

都留高探究プロジェクト （社会・地域・医療） と市議会

都留高生から研究成果の発表をして頂いた後、議員からの質問形式で意見交換を行いました。様々な分野について、高校生の考えを知る有意義な機会となりました。



市議会広報委員会

- ・棚本晃行委員長
- ・藤本実副委員長
- ・西室衛委員
- ・鈴木基方委員
- ・安藤久雄委員
- ・志村和喜委員
- ・相馬保政議長（オブザーバー）

高校生が地方自治への

関心を高めるために

【都留高生】

私たちは「高校生が地方自治に関心を高めるには」というテーマで研究をしてきました。
今年度は、都留高校の1・2年生に「大月市議会だより」を実際に読んでもらいアンケートを取りました。その結果をふまえ意見交換をしたいと思います。

アンケートの内容 ※一部抜粋（市内在住2年生）

質問① 議会だよりを読んだことがあるか？

1. ある13人 2. ない41人

質問② 過去に読んだ市議会だよりの媒体は？

1. 紙13人 2. ネット0人 3. 両方0人

質問③ 「大月市議会だより」「広報おつき」がネットで読めることを知っていたか？

1. 知っていた4人 2. 知らなかった51人

など上記3問とあわせて計5問の質問を行いました。

【意見・感想】

- ・議会だよりを読むことで、自分の知らないことが知れたので関心が深まった。
- ・自分が思っているよりも深く討論されていたことがわかった。

Q

議会だよりがネットにアップされていることを知らない人がほとんどでしたが、どのように伝えたら高校生が興味・関心を持てるでしょうか。
（市議会）

・議会だよりについては、ネットで読めるということを知ってもらうことが大事だと思います。
また、選挙の候補者を知ってもらうためには、若者達も使うツイッター、インスタグラムなどのコンテンツを公約などの情報発信に活用して行くことも必要だと思います。

大月復活大作戦を考える

（大月の自然・登山を利用した観光を考える）

【都留高生】

現在の大月市は少子高齢化とともに過疎化が進んでおり、まちの活力がなくなっています。大月市の復興、大月市の観光をもっと活性化させるためには何が出来るとだろうかと考えました。

大月の自然・登山を利用した観光を考えるというテーマを設定し、大月駅で実際に登山客の方にアンケートを取りました。

Q

登山客の要望の中から、特にこれをやってみたらどうかと考えていること、身近から出来る取り組み、直ぐに出来ることなどがあれば聞かせてください。
（市議会）

・登山客が実際に話してくれたことが、どの山も待合室や少しでも座れる場所、簡易的なトイレでもいいから欲しいということでした。また、トイレの場所の案内や自動販売機が欲しいとか、場所が分からないということでした。
まずは、自動販売機とトイレの場所を小さいパンフレットに掲載し

Q

成人年齢が4月1日から18歳に引き下げられ、それに伴い様々な権利が変わってくることにについて、どう考えていますか。また、成人式の開催年齢についての考えも聞かせて下さい。
（市議会）

・契約などは分からないことも多く20歳で出来ればいいのではと思っています。また、成人式を18歳で行うと、1月は共通テストがあり、大事な時期になります。また18歳でもまだ飲酒などの制約があるので、20歳で成人式をした方がいいのかなと思います。

Q

SDGsを通して考えているということですが、そういった観点を踏まえて、何か大月市議会に取り組んでもらいたいことや、大月市がこうなったらいいのではないかといい意見があればお願いします。
（市議会）

・先日、テレビで大月のローソンが取り上げられていて、大月市が観光について力を入れて取り組んでいるから全国規模で取り上げられたのだと思います。地域特有の文化や伝統を活かした観光を考えてはどうでしょうか。

て、駅構内に置いておくを持ち運びが出来るので、登山客や観光客に分かり易いかと思います。また、山のマップ、トイレの場所や自動販売機の場所を公式LINEを使って、誰でも見られるようにすることや、疑問を送ったら、それに返信するというように自動的に公式LINEを通してやっていければとも思います。

Q

今、大月市では二拠点居住を進めています。皆さんが将来、二拠点居住という暮らしを想像した時に、どのような生活を想像しますか。
（市議会）

・東京には東京の良さがあると思うのですが、大月市は二つの拠点を持って生活するという理想的な土地ではないかと思えます。自然が豊かで、穏やかな空気が流れていて、週末に帰って来てゆっくりとした時間を過ごし、都内に戻って頑張るといった生活が出来ると思っています。

・大学で都内に行き、東京で勤めたいという気持ちが大きいのですが、自分は山梨で生まれ育っているの、退職した後、老後は大月市に戻って生活したいと思いま

こんな事が決まりました

11月30日～12月22日（23日間）

市長提出

- 条例案件・・・5件
- 補正予算案件・・・10件
- その他の案件・・・3件

今定例会の議案



主な議案の内容

その他

◎契約締結の件（大月市駒橋地区市営住宅建替・定住促進住宅整備事業）

次のとおり事業契約を締結します。

- 1 契約の方法
公募型プロポーザル方式
- 2 契約の相手方
BML株式会社（芙蓉建設グループのSPC）
- 3 事業概要
事前調査業務、設計業務、建設業務、工事監理業務、引渡業務、維持管理業務、運営業務
- 4 契約金額

14億2、444万6、687円に金利変動、物価変動並びに消費税及び地方消費税の税制改正による増減額を加算した額

2 相手方
株式会社 卯月林業

3 処分予定価格
6、900万円

◎富士・東部広域環境事務組合の設立の件
令和4年2月1日から、富士・東部地域全12市町村でごみ処理施設に関する事務を共同処理するため、富士・東部広域環境事務組合を設立します。

◎不動産処分の件
旧畑倉小学校跡地の一部を売却処分します。

1 不動産（土地）
・大月市賑岡町畑倉字茶ド
ウ1289番1

予算（補正）

・大月市賑岡町畑倉字茶ド
ウ1297番
3、877・41㎡
・大月市賑岡町畑倉字茶ド
ウ1304番1
955・64㎡

新型コロナウイルス感染症が長期化し、その影響が様々な人々に及ぶ中、国が臨時特別給付金の支給を実施、対象世帯には通知が送付されます。

・大月市賑岡町強瀬字畑倉
1978番2
609・92㎡
・道A―1
26・11㎡
・道C―1
152・21㎡
・道D
77・74㎡
計6、074・52㎡

1 子育て世帯への臨時特別給付（児童1人につき10万円）
2 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付（対象1世帯につき10万円）

常任委員会の様子

総務産業常任委員会

デジタル化に関係する「複業人材」について
（秘書広報課）

Q 複業人材の方々は、実際に大月市の業務にどう関わっているのか。

A DXに関する複業人材の方には、今後デジタル化を進めるに当たって、どんなことに留意しなければいけないのかアドバイスをいただき、ロードマップの作成と一緒にすすめていきます。

【委員の意見】

アドバイスはあくまでも制度設計に関わるもので、具体的な個人情報扱ったりしないということだった。公務員ではないので、公務員服務規定が及ばない。

そういう意味では給料が掛からないからと手放しで喜べない部分がある。しっかりと管理していただきたい。

社会文教常任委員会

大月短大のキャリアアラボについて（短大事務局）

Q 市内の企業でも働き手が少なかったり、担い手不足したりしている中で、短大生に対して、大月市内への就職に向けての取り組みや何か対策を考えているのか。

A 県外出身者が多く、自分の田舎に帰りたいという学生が多い状況ですが、来年に向けて担当教授と相談をして、できるかぎり市内の企業の経営者の方が、学生に対してアピールをする機会が作れないかということを検討している状況です。



短大生への進路支援（指導）

【委員の意見】

素晴らしい企業や経営者の方がいますので、できる限り大月に残っていたり、可能性だったり、魅力的な企業もあるので、そういったところと連携したり、取り組みを進めていただきたい。

出張所について（市民課）

Q 急速な人口減少等々も踏まえた時に、やはり出張所の数も考えないか。

富士・東部広域環境事務組合の設立の件に対する討論

◆反対討論（要旨）

藤本 実 議員

建設予定地に関する懸念があります。富士山ハザードマップが今年3月に改定され、山梨県は富士山噴火による溶岩流が到達する可能性のある範囲を公表しました。また、何らかの事故により、焼却施設が使えなくなった場合どうするのか。富士・東部地域には2力所配置することを「保険」として検討すべきです。

◆賛成討論（要旨）

鈴木基方 議員

今後、綿密に議論を進めていただく必要はありますが、この議案を否決すると、大月市は富士・東部広域環境事務組合に参加せず、大月市単独でごみ処理事業を行うこととなり、莫大な費用を大月市単独で負担せねばならなくなります。今後の本市、また地域の人口動態に鑑み、ごみ処理の広域化は必要なことです。



市政を問う



市議会のページは
コチラから

12 月定例会

代表質問・一般質問

代表質問・一般質問とは、市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただしたり、報告を求めたりするもので、各定例会で行われます。

代表質問

(1) 志村和喜議員 (大月改新の会 & 公明) 8 ページ

- ①新年度予算は、どの程度の規模になるのか
- ②ワクチン接種を前倒しする予定があるか

(2) 山田政文議員 (大月改新の会 & 公明) 関連質問 9 ページ

- ①新庁舎の完成時期はいつ頃なのか
- ②子育て支援の状況は

(3) 鈴木基方議員 (山と川の街大月) 10 ページ

- ①地域で行う作業への傷害保険加入費などの支援を
- ②今、火山灰が降ってきたらどうするのか

一般質問

(4) 藤本 実議員 (日本共産党 所属) 11 ページ

- ①再エネを目玉にした企業誘致を
- ②人流・物流ゲートウェイ構想とは

(5) 安藤久雄議員 (大月改新の会 & 公明) 12 ページ

- ①旧大月西小学校の教室を公民館として活用しては
- ②県一周駅伝の代表チームに対する大月市の支援は

(6) 西室 衛議員 (大月改新の会 & 公明) 13 ページ

- ①デジタル化に関する取組ビジョンは
- ②駒橋土地区画整理の課題は

(7) 棚本晃行議員 (山と川の街大月) 14 ページ

- ①結婚新生活支援事業に取り組むべき
- ②個別避難計画の作成に向けた取り組みは

本文は要旨の掲載であり、質問者自身が責任を持って作成したものです。詳しい内容については、会議録 (3 月上旬発行予定) を図書館及び市のホームページ (<http://www.city.otsuki.yamanashi.jp/>) で閲覧することができます。

令和 3 年 12 月定例会

議決結果等一覧表

賛成 ○ 反対 × 議長欠席のため副議長による議事進行 / ※相馬保政 議長を除く

種別	議案番号	議 員 名 案 件 名	萩 原 剛	奥 脇 一 夫	小 泉 三 雄	西 室 衛	小 原 文 司	藤 本 実	山 田 政 文	相 馬 基 方	鈴 木 久 雄	安 藤 和 喜	志 村 晃 行	結 果
条例	第 57 号	大月市職員給与条例中改正の件												可決
	第 58 号	大月市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例中改正の件	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	
	第 59 号	大月市国民健康保険条例中改正の件												
	第 60 号	大月市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第 61 号	大月市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例中改正の件												
補正 予算	第 62 号	令和 3 年度 大月市一般会計補正予算 (第 6 号)	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	可決
	第 63 号	令和 3 年度 大月市一般会計補正予算 (第 7 号)												
	第 64 号	令和 3 年度 大月市大月短期大学特別会計補正予算 (第 1 号)												
	第 65 号	令和 3 年度 大月市国民健康保険特別会計補正予算 (第 1 号)												
	第 66 号	令和 3 年度 大月市簡易水道特別会計補正予算 (第 1 号)												
	第 67 号	令和 3 年度 大月市下水道特別会計補正予算 (第 1 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第 68 号	令和 3 年度 大月市介護保険特別会計補正予算 (第 2 号)												
	第 69 号	令和 3 年度 大月市介護サービス特別会計補正予算 (第 1 号)												
	第 70 号	令和 3 年度 大月市後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 1 号)												
	第 74 号	令和 3 年度 大月市一般会計補正予算 (第 8 号)												
その他	第 71 号	契約締結の件 (大月市駒橋地区市営住宅建替・定住促進住宅整備事業)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第 72 号	不動産処分の件												
	第 73 号	富士・東部広域環境事務組合の設立の件	×	○	×	○	○	×	○	×	○	○	×	

大月市議会の会派構成は、次のとおりです。

会派構成

◎大月改新の会&公明

代表者

萩原剛

所属議員

相馬保政

西室衛

山田政文

相馬力

安藤久雄

志村和喜

◎山と川の街大月

代表者

奥脇一夫

所属議員

小原丈司

鈴木基方

棚本晃行

◎無会派議員

小泉二三雄

藤本実



大月改新の会&公明

志村 和喜

Q 新年度予算は、どの程度の規模になるのか

A 現時点で概算の予算額を示すことはできません

問 令和4年度予算編成方針について、新年度予算は、どの程度の規模になるのか。

答 市長 令和4年度の予算編成は、

新型コロナウイルス感染症の影響により市税の減少が見込まれ、一般財源が前年度を下回ることから、既存事業については事業目的が市民のニーズに合っているかははじめ、ゼロベースで見直しを図り、緊急性や費用対効果の低い事業については、廃止、縮小、再構築を徹底するよう指示したと

ころです。9月中旬には各課より予算要求書が提出され、10月から事務ヒアリングを行っています。今後は、再度の事務ヒアリングの実施や県主催の予算説明会において提供されます各種資料に基づき、交付金等の予算額を見込み、2月初旬には編成作業を完了する予定としています。

予算総額や新型コロナウイルス対策の予算額につきまして、実施する事業の動向によって予算額が大きく影響することから、現時点で概算の予算額をお示しすることはできませんが、限られた予算で最大の効果が得られるよう予算を編成し、3月定例会にはしっかり説明できるよう取り組んでまいります。

次に、予算編成における主要事業については、新規主要事業については、市庁舎の建て替えの検討に係る経費を含む防災、子育て支援及び基盤整備など各部署と事業の目的、効果、経

費などを含め、現在、検討していますので、予算と併せ3月定例会で説明させていただきます。

Q ワクチン接種を前倒しする予定があるか

A 厚生労働省や山梨県から接種の前倒しの指示や通知は届いておりません

問 新型コロナウイルスワクチンの第3回目の接種が、2回目接種の8か月後に実施予定となつていますが、オミクロン株の感染拡大が予想される中、国の指示で各自治体による前倒し判断を行うように求められています。大月市の判断で前倒しをする予定があるか。

答 市長

現時点で厚生労働省や山梨県から接種の前倒しをす



ワクチン接種の様子

るよう指示や通知は届いておりません。

本市では、接種券を12月3日に該当となる医療従事者等へ発送し、順次、接種を開始しており、医療従事者等の接種は、おおむね2月中に終了する予定となっています。その後、2回目の接種から原則8か月を経過した高齢者等から、2月中の接種開始を目指して準備を進めています。今後とも医師会と協議を重ねながら、3回目の追加接種を実施してまいります。



大月改新の会&公明

山田 政文

Q 新庁舎の完成時期はいつ頃なのか

A 着手までに4年必要

問 新庁舎の完成時期はいつ頃を想定するのか。

答 市長 まず、庁舎建設場所につきましましては、山田議員ご提案の現在地に新築することも含め、市民の皆様の利便性や財政面等を考慮し慎重に検討してまいります。

次に、新庁舎の完成時期についてです。市民の安全な生活を守る建物として、

早急な建て替えの実現に向けて建設場所、用地、建設手法等の諸条件について基本構想の見直しの中で検討をしてまいります。完成時期の想定ですが、実施までに4年程度が必要と考えています。



築63年目の本庁舎

Q 子育て支援の状況は

A 様々なニーズに対応する努力をしている

問 本市の子育て支援の現状について教えてください。

答 子育て健康課長

主な支援事業は、高校生までの医療費自己負担全額

を助成する制度、出生時の子育て支援手当の給付等に加えて、ファミリーサポートや保育所などでの預かり事業の充実を図っています。その中で、現在、鳥沢駅周辺に令和5年4月の開園を目指した認定こども園の整備が進んでいます。

また、令和にこにこ園は、来年4月に幼稚園の機能を併せ持つ認定こども園へ移行することとしています。民間の幼稚園、保育園では、それぞれが特色ある教育、保育を充実することで、保護者の様々なニーズに応えられるよう努力をしています。

再質問

問 市長から子育て支援への意気込みをお聞きたい。

答 市長

独自の支援策についても課長の答弁にあったとおり、しっかりと検討して、そし

その他の質問

問 公共施設の今後の管理活用計画について（コロナ禍におけるネット申請の活用について）

て子育てしやすいまちに対して精いっぱい取り組んで、出生数を延ばしていくことを目指し、頑張っています。



山と川の街大月
鈴木 基方

Q 地域で行う作業への傷害 保険加入費などの支援を

A 来年度の実施に向けて準備を進めている

問 令和2年12月、地域の奉仕活動などに対する補助に関し、窓口の一元化と周知を行うべきと提案したが、その後の進捗状況は。

答 産業建設部長

奉仕活動の支援として、アダプトプログラムや美しいふるさとづくり活動支援など、窓口の一元化を検討しましたが、支援制度の趣旨や目的が異なるため、実現には至っていません。

本年4月号の広報おつぎ、市ホームページでの掲載など改善を行い、来年度も広報おつぎへの掲載を行う予定です。

鳥獣害防止柵の維持管理に、一律に補助することが難しいなど課題がありました。今後、市民の皆様が行う公共施設の維持管理などの作業の支援につき、保険の有無も含め、関係者の意見も伺い、来年度の実施に向けて準備を進めています。

Q 今、火山灰が降ってきたらどうするのか

A 一時仮置場は、閉校した小中学校の校庭等の広い空き地

問 以前から提案をしている防災計画の見直しと防災体制について伺う。富士山噴火の際の備えについて伺う。

答 市長

地域防災計画については、国の指針や県計画を勘案し、令和5年度の完了を目的に修正作業に着手しています。富士山噴火の際の備えについてですが、令和3年3月に富士山ハザードマップが改定され、火山現象の影響範囲の想定が変化したことにより、本市が溶岩流の影響範囲に含まれたため、法定協議会である富士山火山防災対策協議会へ令和3年7月19日に参画しました。今後の本協議会での協議を踏まえ、本市における富士山の火山災害に対する必要な予防、対策について地域防災計画に定めていくこととします。

再質問

問 今、火山灰が降ってきたらどうするのか伺います。

答 総務管理課長

本市の地域防災計画において、民有地内に降った灰

の除去については、原則として土地等の所有者が対応することとなっております。各家庭から排出された灰の回収は市が行います。各事業者から排出された灰については、一時仮置場までの搬入を各事業者の責任において実施していただくこととしています。

一時仮置場については、閉校した小中学校の校庭等の広い空き地を考えています。なお、清掃、集積した火山灰の利用、処分については、県と協議することとしています。



岩殿山から望む富士山

一般質問



藤本 実
日本共産党 所属

Q 再エネを目玉にした企業誘致を

A 市内の発電事業者とも協議し、企業誘致施策を研究する

問 事業活動で使用する電力のすべてを再エネで賄うことを目指す国際イニシアティブ「RE100」などの動きがあります。大月市でも、東京電力駒橋発電所、大月バイオマス発電株式会社等と共同で「再エネ100%エリア」を実現させ、脱炭素を

答 産業観光課長

今後地球規模の課題である気候変動問題の解決の実現に向けて、国や自治体、事業者さらに国民一人ひとり、あらゆる主体が取り組む必要があります。幸い、

市内には再生可能エネルギー源を用いた発電施設が立地していることから「カーボンニュートラル」に向け「RE100」に取り組む企業から選ばれる地域としての可能性があると思われます。今後「カーボンニュートラル」に向けた「再生可能エネルギー」導入は、重要な課題となることから、市内に立地する発電事業者とも協議を行い、再生可能エネルギーを活用した事業展開を目指す企業への誘致施策について研究を行っていききたいと思います。

Q 人流・物流ゲートウェイ構想とは

A 「脱炭素」について検討するものではない

問 ぜひ若者が政策立案過程に参加できる場をつくり、環境の専門家や研修会を精力的に行い、脱炭素の流れをまちづくりに生かして欲しい。

山梨・大月生涯青春大学プロジェクトでは、20年後の大月市の理想の姿であるビジョンマップを作成することとしており、12月5日大月短期大学において、高校生や大月短大生、子育て世代からシニア世代、青年会議所、移住者、二拠点居住者、NPO法人、市若手職員など幅広い分野、年齢層の方々にご参加いただき、キックオフフォーラムとマップ作成のためのワークショップを実施したところがあります。

このプロジェクトは「脱炭素」について検討するものではありませんが、20年後の大月市の姿に、森林資源の活用など「脱炭素」に関する取り組みを視野に入れていく必要があると感じています。

駒橋発電所



大月バイオマス発電所



大月改新の会&公明
安藤 久雄

Q 旧大月西小学校の教室を公民館として活用しては

A 公民館として活用をすることは簡単にはできません

問 統合により閉校となった学校跡地の活用について、耐震のある旧大月西小学校の教室を地域の公民館として活用してはどうかと思うが、市の考えを伺います。

答 教育次長
旧大月西小学校の校舎は、平成9年度に建設されたものであり、耐震基準を満たした建物です。平成28年3月、閉校になって以降、一部の教室をコースなどの団体が利用してきましたが、現在はほとんど利用されていない状況です。

旧大月西小学校は、敷地内に民有地が存在することなどから売却は難しく、市



活用が期待される閉校跡地
(旧大月西小学校)

の方針では事業者に貸付けをすべき施設としているところです。議員ご指摘の公民館としての活用ですが、正規の真木公民館は校庭の南側にありますので、公民館としての活用をすることは簡単にはできませんが、集会所施設などとして貸付事業者が決まるまでの間、使用することは可能です。

しかしながら、現在、水道施設の不具合のため、校舎内の水道、トイレが使用できない状態となっていますので、ご承知おきくださいますようお願いいたします。

Q 県一周駅伝の代表チームに対する大月市の支援は

A 大月市陸上協会に対し、県一周駅伝チーム特別強化費の支援をしています

問 先頃、2年ぶりに実施された、第58回山梨県一周駅伝に大月市の駅伝代表チームが挑みましたが、駅伝競走大会に出場したその大月市の代表チームへの大月市としての支援はどのようなものだったのか。代表チームに対し、単独の支援を検討していただきたいと思いますが、市はどのように考えているかお聞かせください。

答 社会教育課長

第58回山梨県一周駅伝競走大会に対する大月市代表チームへの支援についての具体的な支援内容はどのようなものかについてお答え



2年ぶりに開催された県一周駅伝

します。

県一周駅伝出場に伴う選手の強化練習場として大月市陸上協会から総合グラウンド陸上競技場の使用申請がありましたので、冬季閉鎖期間中でありましたが、使用料免除による貸出しを行いました。

また、市スポーツ協会を通じて、大月市陸上協会へ県一周駅伝チーム特別強化費の支援が行われています。



大月改新の会&公明
西室 衛

Q デジタル化に関する取組ビジョンは

A 事務の効率化の観点から重要な取組

問 デジタル化への取組について伺う。

1点目に、デジタル化への取組ビジョンは。

2点目に、デジタル化を進める上で庁舎内及び公共施設へのWi-Fiの整備状況と、今後の計画は。

答 総務部長

行政のデジタル化につきましては、市民サービスの向上や行政事務の効率化の観点からも重要な取組であると認識しており、複業人材の方々からも各種アドバイスをいただく中で、ロードマップの作成に取り組んでまいりました。行政手続のオンライン化として山梨県及び県内全市町村で運用



マイナンバーカードの申請手続き（市役所1階ロビー）

するやまなしくらしネット電子申請サービスシステムによる電子申請が可能となっています。

また、LINEによるコロナワクチン接種予約を行い、多くの方に利用していただいたところですが、現在、LINEによる情報発信の方法について、必要な人へ必要な情報が届けられるようアンケート調査を実施したところであり、その方法について庁内で検討しているところ です。

次に、庁舎内及び公共施設へのWi-Fi整備の状況はについてです。

現在、小中学校等の教育施設を除く公共施設のWi-Fi整備は、未整備となっています。今後は、総務省におけるWi-Fi環境整備の支援事業等を注視しながら、導入に向けた検討を早急に進めてまいります。

Q 駒橋土地区画整理の課題は

A 持続可能なまちづくり

問 駒橋土地区画整理事業の状況について伺う。

1点目に、駒橋土地区画整理事業の進捗状況は。

2点目に、今後の課題及び取組は。

答 地域整備課長

大月市駒橋1丁目、2丁目地内において、土地区画整理法に基づく地権者設立の組合施行による土地区画整理事業が計画されており、令和2年8月には組合設立準備会結成についてが事業者から提出され、区域内の地権者の方々に対しまして事業内容についてのさらなる説明を行い、合意形成を図っている状況です。ただし、コロナ禍の影響により人数を集めた説明会の開催が困難であったことから、当初の計画よりは事業の進捗が遅れが出てきています。

次に、今後の課題及び取組はについてです。人口減少社会に対応する持続可能なまちづくりを目指すものであることから、今後は、本市では初めての組合施行による土地区画整理事業として施行者が事業を進めていくこととなりますが、地域全体の発展に寄与するようなまちづくりを本市も協力しながら推し進めていきたいと考えています。

議会日誌

あなたも
本会議を傍聴しませんか

11月（後半）	
16日	議員定例懇談会
18日	全国市議会議長会 社会文教委員会正副委員長会議 全国市議会議長会 第172回社会文教委員会
19日	令和3年大月都留広域事務組合議会 11月定例会
22日	議会運営委員会
26日	全国市議会議長会 国と地方の協議の場等に関する特別委員会 令和3年第3回東部地域広域水道企業団議会定例会
30日	全員協議会 令和3年第5回市議会定例会 開会 大月市議会議員定数等調査特別委員会

12月	
15日	代表質問・一般質問
17日	総務産業常任委員会 市議会広報委員会
20日	社会文教常任委員会
22日	議会運営委員会 全員協議会 令和3年第5回市議会定例会 閉会

1月	
11日	意見交換会（都留高生と市議会）
27日	市議会広報委員会

2月（前半）	
2日	全国市議会議長会 第226回理事会・第112回評議員会合同会議 （書面開催）
7日	全国市議会議長会 第173回社会文教委員会（書面開催）
10日	全国高速自動車道市議会協議会 第48回定期総会（書面開催）
15日	大月市議会議員定数等調査特別委員会 議員定例懇談会

市議会広報委員会からのお知らせ

市議会広報委員会では、市民の皆様親しまれ、愛される紙面づくりに努めておりますが、さらに見やすく、読みやすい紙面づくりのために、市民の皆様の貴重なご意見・ご感想を議会事務局までお寄せ下さい。

発行 大月市議会
編集 市議会広報委員会

大月市議会事務局
〒401-8601 山梨県大月市大月2丁目6番20号
TEL.0554-23-1057 FAX.0554-23-0321
E-mail gikai-19206@city.otsuki.lg.jp

市議会
広報委員会

委員長	棚本 晃行
副委員長	藤本 実
委員	西室 衛
委員	鈴木 基方
委員	安藤 久雄
委員	志村 和喜

議会の傍聴は、傍聴券に住所・氏名などを記入するだけで出来ます。
詳しいことは議会事務局へお問い合わせください。

※コロナウイルス感染拡大の状況により自粛をお願いする場合があります。

3月定例会の日程（予定）

- 開会日 2月25日
- 代表質問 3月11日
- 一般質問
- 一般質問（予備日） 3月14日
- 閉会日 3月22日

※詳細は議会事務局にお問い合わせください。

編集後記

都留高探究プロジェクトの皆さんとの意見交換会も2回目となり、都留高生からの率直な発言も活発に出て、都留高生が行ったアンケート結果に基づく意見や感想など、内容的にも議会としてかなり参考となる意見が多く、有意義な意見交換会となりました。

新型コロナウイルスの流行が続き、なかなか先が見えない現状ではありますが、早期の終息を願っております。（担当 鈴木基方）

Editorial note



この市議会だよりは、環境保護のため、再生紙・植物性インキを使用しています。